

地球環境高等学校 通信教育実施計画

科目名 (単位数)	地球環境Ⅱ (2単位)		担当者名	高柳 伸一		
対象年次	期別	必要面接時数	レポート数			
3 学年	通年	4 - 1 0	6			
科目の概要	地球の成り立ち、資源の利用、環境問題の歴史と対処および地球温暖化対策とエネルギー利用技術について学び、環境を自分の問題として考える倫理観を養う。					
科目の目標	【知識・技能】 地球の成り立ち、環境問題の歴史と対処、地球温暖化の仕組み、影響、エネルギー利用技術および地球温暖化対策について学ぶ。					
	【思考・判断・表現】 持続可能な社会を実現するために何をなすべきか考察することができる。					
	【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会を実現するため、環境を自分の問題として考える倫理観を養い、自ら行動できるようにする。					
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回		レポート回	試験範囲
			通常型	週3日型		
	廃棄物とリサイクル	廃棄物の定義と分類及び処理方法と現代社会が抱える問題も学ぶ。	1	2	1	前期
	地球環境の保全	それぞれの公害の性質とその対策技術について学ぶ。	1	2	1	
	地球環境の保全	それぞれの公害の性質とその対策技術について学ぶ。		1	1	
	産業と環境	環境管理のしくみとわが国の環境保全の取り組みを学ぶ。	1	2	1	後期
	都市・生活と環境	都市における環境問題とその対応、身近な住環境における問題について学ぶ。	1	2	1	
都市・生活と環境	都市における環境問題とその対応、身近な住環境における問題について学ぶ。		1	1		
評価方法	成績評価は、レポート・スクーリング・試験によって決定する。 ○レポート：全6回。教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 ○スクーリング：年間計画に従い、スクーリング・実技を実施する。 ○試験の得点：レポート7割、スクーリング3割で出題をする。20点未満は追試。					
単位の取得	① レポート：締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ② スクーリング：年間4時間出席すること。 ③ 試験：前期試験、後期試験を受け、合格をすること。					
使用教科書等	教科書：工業環境技術 学習書：					
学習上の留意点	スクーリングの進行に合わせ復習をし、レポートに取り組みましょう。					